

11月2日

は

キッチン・バスの日

JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH

キッチン・バス工業会

Since 1965

2023年1月25日

## 2023年1月13日 キッチン・バス工業会は 3年ぶりに新年賀詞交歓会を開催しました

キッチン・バス工業会(会長:松下 芳朗 パナソニック ハウジングソリューションズ(株) 常務執行役員/会員83社)は、総勢133名の参加による賀詞交歓会を東京會館(東京・丸の内)にて開催し、新年の門出を祝うとともに、今後の業界の発展を祈念しました。松下会長の挨拶に始まり、ご来賓の経済産業省 原田室長様、国土交通省 山下課長様より、ご祝辞をいただきました。渡辺副会長(タカラスタンダード(株))の乾杯発声後しばし歓談いただき、瀧本社長(株)伸晃)の中締めにより、盛況のうちに終了しました。

松下会長 挨拶

「癸卯(みずのと・う) 努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍する年を迎えて」



あけましておめでとうございます。当工業会として賀詞交歓会を3年ぶりに開催する運びとなりました。大いに祝いたいと思います。

今回の開催につきましては、感染者が未だ多い状況で悩みましたが、当工業会の目的の一つは会員企業、各団体の皆様と対面で交流しながら情報交換し、いかに住宅設備業界を盛り上げ、豊かな生活を築いていくかを目指していくことにあり、コロナ感染対策をしっかりと行った上で一堂に会し、業界関係者がコミュニケーションを取り、語っていくことが大切だと判断いたしました。

さて、昨年を振り返りますと、コロナとの付き合い方もかなり定着し、経済活動もほぼ戻ってきているのではないのでしょうか。ただし、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギーの供給不安や、急激な円安等もあって、各会員企業が材料高騰の対応に追われ、厳しい1年でした。今年こそは良

い年できっちり事業活動ができる年になってほしいと願っています。まだまだ厳しい状況が続くかもしれませんが、皆様と共に情報共有しながら頑張っていきたいと思います。

また、日本が目指す2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、「脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律」が昨年6月公布されました。当業界に関する制度等が厳しくなってくることも予想され、責任も大きくなっていくものと考えます。個社の活動だけでなく当工業会として、今後の社会に役立つために経済産業省、国土交通省と一緒に良い道筋を作っていきたいと考えます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。また今年は、昨年工業会で制定した「物流課題に対するガイドライン」とそのチラシを有効活用することに取り組んでいきます。皆様と積極的な啓発活動をしていきたい、よろしくお願いいたします。

2023年は「癸(みずのと)卯(う)」という年になります。今までの努力が実を結び勢いよく成長し飛躍するような年になると言われています。コロナ禍を打ち払ってステップアップ、ジャンプアップし、更なる発展につながるような1年とするため、皆様と共に邁進しましょう。

祝辞 経済産業省 製造産業局生活製品課 住宅産業室 室長 原田 富雄様  
「官民挙げて成長投資を拡大し、住宅分野の省エネ化支援を推進」



皆様あけましておめでとうございます。本日は賀詞交歓会にお招きいただき誠にありがとうございます。

昨年には官民挙げて成長投資を拡大させていくため「国内投資拡大のための官民連携フォーラム」が開催され、第2次補正予算においては政府全体で7兆円かつ複数年にわたる戦略的な投資支援が盛り込まれ、これにより民間投資を呼び込みイノベーションによって生産性を上げ、所得を向上させ、投資とイノ

ベーションと所得向上の3つの好循環の実現を目指しています。

住宅産業を取り巻く環境に目を向けますと、エネルギー資材の高騰や施工技術者の不足など多岐にわたる課題があり、その解決に向けて官民が共同して対応することが求められています。とりわけカーボンニュートラルの実現とエネルギー価格高騰への対応として住宅分野の省エネ化はさらに重要な位置づけとなっており、経済産業省としては、国土交通省をはじめとした関係省庁とも連携してこうした支援を推進していく所存です。

経済産業省の最重要課題である福島復興では、三陸・常磐地域の水産業等の本格的な復興に向け、昨年末官民連携の枠組みである「魅力発見！三陸・常磐ものネットワーク」を立ち上げました。このネットワークでは産業界、自治体、政府関係機関等から広く参加を募り、水産物等の売り手と買い手をつなげることで三陸・常磐もの魅力を発信し消費拡大を図ります。本日の賀詞交歓会においても、三陸・常磐地域の日本酒コーナーが設置されており、ぜひ味わっていただければと思います。引き続きネットワークへの積極的な協力、参加をお願いいたします。

祝辞 国土交通省 住宅局 住宅生産課長 山下 英和様  
「台所、お風呂のリフォームから、省エネ改修を促進」



皆様、新年あけましておめでとうございます。キッチン・バス工業会の賀詞交歓会が3年ぶりに開催されますことをお喜び申し上げます。

さて、住宅は安心して生活するために必要な最も基本的な基盤ですが、なかでも台所・お風呂は家族の団欒や寛ぎのための空間として、極めて重要な役割を担っています。住み慣れた自宅で、長く暮らし続けるには何よりも台所やお風呂を安全で快適なものにしていくことが大切ですし、合わせて省エネ化、バリアフリー化を進めていくことも必要です。

最近の住宅を取り巻く状況は、世界的な物価上昇で建築費が高騰し、一方で実質所得の落ち込みや生活費の負担増加といったことから大変厳しい状況にあります。こうした中、住宅の省エネ投資を下支えするために、昨年成立した令和4年度の補正予算におきまして1,500億円規模の「こどもエコすまい支援事業」をご用意させていただきました。エネルギー価格高騰の影響を受けやすい子育て世帯をはじめとした皆様に、ZEH水準の省エネ機能を有する新築住宅を取得していただくための支援、さらに住宅の省エネ改修に対しても幅広く支援させていただくこととしています。経済産業省、環境省と合わせ3省で2,800億円の予算規模となります。これを連携しワンストップでご利用いただき使いやすいものとするように取り組んでいきます。省エネ、バリアフリー、さらには家事負担の軽減という観点から、台所やお風呂のリフォームに対する支援のメニューも多々盛り込んでいます。住宅のリフォームでは、台所やお風呂のリフォームを検討されることが多いかと思いますが、今回の補助を積極的に活用いただき、まずは台所とお風呂のリフォームをしっかりとさせていただいた上で、これをきっかけに窓の高断熱化など、住宅の様々な省エネ改修が進んでいくことを期待しています。

国土交通省におきましては、台所・お風呂をはじめとして安全で快適な住まいを実現するために、引き続き皆様方とよく連携しながら取り組みを進めていきたいと考えています。

乾杯 渡辺副会長（タカラスタANDARD(株)代表取締役社長）  
「リフォーム需要掘り起こしと、付加価値商品開発でさらなる成長を」



皆様、あけましておめでとうございます。3年ぶりの賀詞交歓会で、直接皆様とお会いでき、新年をお祝いできるというのは格別な気持ちです。来年は、もっと多くの方にこの場にお越しいただける環境が整うことを期待します。

さて、今年はどんな年になるのでしょうか。人により、経済が後退するのではないかという方もいらっしゃると思います。

例えば金利が上がれば住宅着工にも影響するでしょうし、資源、エネルギー価格の上昇は、我々メーカーにとりましては非常に大きな収益圧迫の要因になります。しかし、それでも私はあまり悲観的には考えていません。おそらく今年もそれなりにリフォーム需要は出てくるでしょうし、劇薬かもしれませんが資源価格が上がることによって、永年続いたデフレの解消につながってくればと思います。そのようなことから今年も水廻り機器業界は、リフォーム需要を掘り起こしたり、付加価値商品を開発していけば まだまだ成長できる余地があるのではないかと思いますのでお互いに切磋琢磨していきましょう。

新入会員ご挨拶 佐藤 宏彦様(㈱アラミック 代表取締役)  
「浴室文化、台所文化に貢献します」



当社は、主にお客様の取り換え需要に応じた浴室用のシャワーヘッドを 30 年近く製造・販売しています。ここにお集りの皆様方が作ってこられた浴室文化、台所文化に、末席から少しでもお役に立てないかと思いキッチン・バス工業会に入会させていただくこととしました。末席なりの矜持をもって貢献してまいりたいと考えています。

中締め 瀧本 忠夫様(㈱伸晃 代表取締役社長)  
「対面での人の繋がりは貴重な機会」



この賀詞交歓会が 3 年ぶりに開催されたことを大変うれしく思っています。

当社は OEM 事業とは別に、ベルカという自社ブランドで家庭用品の製造販売も行っています。コロナ禍前の販売先はホームセンターや量販店がメインでしたが、今では通販事業者がメインになり、この 3 年間で大きく様変わりしたなと実感しています。今や店頭に行かずともスマホで何でも買える時代ですが、反面、人と人の繋がりがどんどん希薄になっているという面もあります。この会で皆様方とリアルで対面し、懇親を深められる機会というのは本当に貴重であり、今後の継続を切に願っています。

【賀詞交歓会風景】



受付



懇親会場



三陸・常磐地酒コーナー



越道常務理事



田中部長

本件に関する問合せ先 〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-9 大門ビル 3 階 キッチン・バス工業会  
TEL:03-3436-6453 FAX:03-3436-6454 e-mail:kitchen.bath@nifty.com